

「薬剤師のための疾患別薬物療法」ガイドライン明細

章	頁	引用・転載図表タイトル (「薬剤師のための疾患別薬物療法」における)	ガイドライン策定学会 (編集組織)	引用・転載ガイドライン	発行年	発行元	担当執筆者 (敬称略)	URL	書籍名(出版元)	
<b>I 巻 悪性腫瘍</b>										
1.肺がん	2	表1 肺がんの検出方法とその特徴	日本肺癌学会	EBMの手法による肺癌診療ガイドライン2005年版	2005	金原出版	下枝貞彦	http://www.haigan.gr.jp/modules/guideline/index.php?content_id=3(同2010年版)		
	2	表2 肺がんの質的画像診断方法とその特徴	日本肺癌学会	EBMの手法による肺癌診療ガイドライン2005年版	2005			http://www.haigan.gr.jp/modules/guideline/index.php?content_id=3 同上		
	3	表3 肺がんの確定診断方法とその特徴	日本肺癌学会	EBMの手法による肺癌診療ガイドライン2005年版	2005			http://www.haigan.gr.jp/modules/guideline/index.php?content_id=3 同上		
	3	表4 非小細胞肺がんのTNM分類(AJCC)	AJCC	Non-Small Cell Lung Cancer Treatment(PDQ®)	2010	-		http://cancerinfo.tri-kobe.org/pdq/summary/japanese-sjsp?Pdq_ID=CDR0000062932(非小細胞肺がんの治療(PDQ®)2013)		
	4	表5 非小細胞肺がんの病期分類(AJCC)	AJCC	Non-Small Cell Lung Cancer Treatment(PDQ®)	2010			http://cancerinfo.tri-kobe.org/pdq/summary/japanese-sjsp?Pdq_ID=CDR0000062932 同上		
	6	表6 肺がんの主な標準化学療法レジメンと催吐リスク	日本癌治療学会	制吐薬適正使用ガイドライン	2010	金原出版		改訂なし		
2.乳がん	17-18	図1 乳がん診療のアルゴリズム	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン1 薬物療法2010年版	2010	金原出版	今村知世	ただし日本乳癌学会会員のみ https://www.jbcsguideline.jp/	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン1 治療編2011年版、金原出版	
	19	表2 乳癌の病期分類	日本乳癌学会	乳癌取扱い規約 第16版	2008	金原出版		改訂なし	乳癌取扱い規約 第17版、金原出版(2012)	
	20	表4 乳がんの主な標準化学療法レジメンと催吐リスク	日本癌治療学会	制吐薬適正使用ガイドライン	2010	金原出版				
	21	表5 乳がん術後補助療法における治療手段の閾値	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン1 薬物療法2010年版	2010	金原出版		ただし日本乳癌学会会員のみ https://www.jbcsguideline.jp/	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン1 治療編2011年版、金原出版	
	21	表6 ER陽性かつHER2陰性乳がんに対する化学療法と内分泌療法の選択	日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン1 薬物療法2010年版	2010	金原出版		ただし日本乳癌学会会員のみ https://www.jbcsguideline.jp/	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン1 治療編2011年版、金原出版	
3.食道がん	29	図1 食道がんの進行度	日本食道学会	食道癌取扱い規約 第10版補訂版	2008	金原出版	北田徳昭	改訂なし		
	29	表1 食道がんの病期分類	日本食道学会	食道癌取扱い規約 第10版補訂版	2008	金原出版		改訂なし		
	30	図2 食道がん治療のアルゴリズム	日本食道学会	食道癌診断・治療ガイドライン	2007	金原出版			食道癌診断・治療ガイドライン 2012年4月版(金原出版) ⇒同趣旨の図有り	
	31	表2 消化器がんの主な標準化学療法レジメンと催吐リスク	日本癌治療学会	制吐薬適正使用ガイドライン	2010	金原出版		改訂なし		
	32	表3 主な根治的放射線療法の治療スケジュール	日本食道学会	食道癌診断・治療ガイドライン	2007	金原出版		食道癌診断・治療ガイドライン 2012年4月版(金原出版) ⇒同趣旨の表有り		
4.胃がん	39	図1 胃がんの肉眼型分類	日本胃癌学会	胃癌取扱い規約 14版	2010	金原出版	北田徳昭	改訂なし		
	39	表1 悪性上皮性腫瘍の組織型分類	日本胃癌学会	胃癌取扱い規約 14版	2010	金原出版		改訂なし		
	40	表2 胃がんの病期分類	日本胃癌学会	胃癌取扱い規約 14版	2010	金原出版		改訂なし		
	41	表3 日常診療におけるStage分類別の治療法の適応	日本胃癌学会	胃癌治療ガイドライン 改訂第2版	2004	金原出版			胃癌治療ガイドライン医師用 第3版、2010年10月改訂(金原出版) ⇒同趣旨の表有り	
	41	表4 臨床研究としてのStage分類別の治療法の適応	日本胃癌学会	胃癌治療ガイドライン 改訂第2版	2004	金原出版			胃癌治療ガイドライン医師用 第3版、2010年10月改訂(金原出版) ⇒同趣旨の表なし	
5.大腸がん	50	表1 大腸がんの病期分類(表には出典明示なし)	大腸癌研究会	大腸癌取扱い規約 第8版補訂版	2013	金原出版	柴山良彦	改訂なし		
	52	表2 大腸がん補助化学療法適応の原則	大腸癌研究会	大腸癌治療ガイドライン医師用 2010年版	2010	金原出版		改訂なし		
	52	表3 切除不能な進行・再発大腸がんの化学療法適応の原則	大腸癌研究会	大腸癌治療ガイドライン医師用 2010年版	2010	金原出版		改訂なし		
	53	図4 切除不能な進行・再発大腸がんに対する化学療法	大腸癌研究会	大腸癌治療ガイドライン医師用 2010年版[改変]	2010	金原出版		改訂なし		
6.肝がん	64	図1 肝細胞がんのサーベイランスアルゴリズム・診断アルゴリズム	日本肝臓学会	科学的根拠に基づく肝臓診療ガイドライン2009年版	2009	金原出版	緒方憲太郎	改訂なし		
	65	表2 肝障害度	日本肝臓学会	臨床・病理原発性肝臓取扱い規約 第5版補訂版	2009	金原出版		改訂なし		
	66	表4 肝がん(肝細胞がん・肝内胆管がん)の進行度	日本肝臓学会	臨床・病理原発性肝臓取扱い規約 第5版補訂版	2009	金原出版		改訂なし		
	66	図2 肝細胞がんのTNM因子	日本肝臓学会	臨床・病理原発性肝臓取扱い規約 第5版補訂版	2009	金原出版		改訂なし		
	66	図3 肝細胞がん治療のアルゴリズム	日本肝臓学会	科学的根拠に基づく肝臓診療ガイドライン2009年版	2009	金原出版		改訂なし		
	7.膵がん	74	図1 膵がん診断のアルゴリズム	日本膵臓学会	科学的根拠に基づく膵臓診療ガイドライン2009年版	2009		金原出版	緒方憲太郎	改訂なし
74	表2 膵がんの進行度	日本膵臓学会	膵癌取扱い規約 第6版	2009	金原出版	改訂なし				
74	表3 膵がんの局所進展度(T因子分類)	日本膵臓学会	膵癌取扱い規約 第6版	2009	金原出版	改訂なし				
75	表4 膵がんの局所進展度の記載	日本膵臓学会	膵癌取扱い規約 第6版	2009	金原出版	改訂なし				
75	表5 膵がんのリンパ節転移の程度(N因子)	日本膵臓学会	膵癌取扱い規約 第6版	2009	金原出版	改訂なし				
75	表6 膵がんの遠隔転移の程度(M因子)	日本膵臓学会	膵癌取扱い規約 第6版	2009	金原出版	改訂なし				
8.卵巣がん	83	表1 卵巣腫瘍の臨床病理学的分類	日本産科婦人科学会・日本病理学会	卵巣腫瘍取扱い規約(第1部)	2009	金原出版	牧野好倫	改訂なし		
	83	表2 上皮性細胞がんの組織学的分類	PDQ®	上皮性卵巣がんの治療[改変]	2009.4.16			http://cancerinfo.tri-kobe.org/pdq/summary/japanese-sjsp?Pdq_ID=CDR0000062829(上皮性卵巣がんの治療(PDQ®))	PDQ(日本語版)原文更新日:2012/11/16、翻訳更新日:2013/01/29	
	84	表3 卵巣がんのFIGO臨床進行期分類(1988年)	日本産科婦人科学会	卵巣腫瘍取扱い規約(第2部) 改訂第2版	1997	金原出版		改訂なし	http://www.cancer.gov/cancertopics/pdq/treatment/ovarianepithelial/healthprofessional/(Ovarian Epithelial Cancer Treatment (PDQ®))	PDQ(原文)2011/11/16
	85	図2 初回治療のフローチャート	日本婦人科腫瘍学会	卵巣がん治療ガイドライン2007年版	2007	金原出版		http://www.jsgo.gr.jp/guideline/ransou.html(同2010年版)	卵巣がん治療ガイドライン2010年版(金原出版)	
	86	図3 再発卵巣がんの治療	日本婦人科腫瘍学会	卵巣がん治療ガイドライン2007年版	2007	金原出版		http://www.jsgo.gr.jp/guideline/ransou.html 同上	卵巣がん治療ガイドライン2010年版(金原出版)	
	87	表4 卵巣がんの主な標準化学療法レジメンと催吐リスク	日本癌治療学会	制吐薬適正使用ガイドライン(改変)	2010	金原出版		改訂なし		
	88	表5 バクリタキセルおよびカルボプラチンによる急性過敏反応	日本婦人科腫瘍学会	卵巣がん治療ガイドライン2007年版[改変]	2007	金原出版		http://www.jsgo.gr.jp/guideline/ransou.html(同2010年版)	卵巣がん治療ガイドライン2010年版(金原出版)	
	88	表6 再発卵巣がんの化学療法	日本婦人科腫瘍学会	卵巣がん治療ガイドライン2007年版[改変]	2007	金原出版		http://www.jsgo.gr.jp/guideline/ransou.html 同上	卵巣がん治療ガイドライン2010年版(金原出版)	

章	頁	引用・転載図表タイトル (「薬剤師のための疾患別薬物療法」における)	ガイドライン策定学会 (編集組織)	引用・転載ガイドライン	発行年	発行元	担当執筆者 (敬称略)	URL	書籍名(出版元)		
9.前立腺がん	101	表1 前立腺がんのTNM分類	日本泌尿器科学会・日本病理学会	前立腺癌取り扱い規約 第3版	2001	金原出版	池末裕明		日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会、前立腺癌取り扱い規約【第4版】、2010/12/17(金原出版)		
	101	図3 前立腺がん治療のアルゴリズム	日本泌尿器科学会	前立腺癌診療ガイドライン2006年版	2006	金原出版			日本泌尿器科学会、前立腺癌診療ガイドライン 2012年版、2012/04/20(金原出版) 会員のみ		
	103	表2 前立腺がんの標準化学療法レジメンと催吐リスク	日本癌治療学会	制吐薬適正使用ガイドライン〔改定〕	2010	金原出版		改訂なし			
付録	114	付録2 G-CSF投与ガイドライン(合成して作成)	日本癌治療学会	Int J Clin Oncol 6(suppl), 1-24, 2001	2011	日本癌治療学会	今村知世		改訂なし		
				Smith TJ et al.J Clin Oncol 24, 3187-3205, 2006	2006	ASCO			改訂なし		
	115	付録4 有害事象共通用語規程 CTCAEv4. 0	日本臨床腫瘍研究グループ	日本語訳 JCOG版より	2010.9.11	JCOG			改訂なし? (2010.9.11後、2011.04.25版、同12.17版、2012.11.20版、2013.04.09版が出ているが)		
<b>II 巻 神経・脳神経系疾患/消化器疾患</b>											
<b>&lt;精神・脳神経系疾患&gt;</b>											
1.うつ病	7	図5 うつ病(軽症・中等症)のアルゴリズム	精神科薬物療法研究会	気分障害の薬物治療アルゴリズム	2003	じほう	大橋美月 野田幸裕		改訂なし		
2.統合失調症	22	表2 DSM-IV-TRによる統合失調症の定義	APA	DSM-IV-TR精神疾患の分類と診断の手引(新訂版)	2009	医学書院	吉尾隆		米国精神医学会のガイドラインDSM-4-TRが本年中にDSM-Vに改訂の予定、未発表		
	22	表3 ICD-10による統合失調症の分類		ICD-10精神および行動の障害—臨床記述と診断ガイドライン	2005	医学書院			ICD-10がICD-11に改訂される作業が進んでいる。改訂時期は未決定		
3.パーキンソン病	38	表1 パーキンソン病の診断基準	厚生省特定疾患 神経変性疾患調査研究班	1995年度研究報告書	1996		大村友博 松原和夫	改訂なし	http://www.neurology-jp.org/guidelinem/parkinson.html (パーキンソン病治療ガイドライン)		
4.認知症	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5.てんかん	70	表1 てんかん発作の臨床・脳波分類(ILAE:1981)		てんかん治療ガイドライン作成小委員会 臨神経42	2002		末丸克矢 荒木博隆	http://www.neurology-jp.org/guidelinem/tenkan.html (てんかん治療ガイドライン)	日本神経学会、「てんかん治療ガイドライン2010」(医学書院)		
	71	表2 てんかん、てんかん症候群および発作関連疾患の分類(ILAE:1989)		てんかん治療ガイドライン作成小委員会 臨神経42	2002			http://www.neurology-jp.org/guidelinem/tenkan.html (てんかん治療ガイドライン)	日本神経学会、「てんかん治療ガイドライン2010」(医学書院)		
	71	表3 病歴聴取		てんかん治療ガイドライン作成小委員会 臨神経42	2002			http://www.neurology-jp.org/guidelinem/tenkan.html (てんかん治療ガイドライン)	日本神経学会、「てんかん治療ガイドライン2010」(医学書院)		
<b>&lt;消化器疾患&gt;</b>											
1.消化性潰瘍	83	図1 胃潰瘍診療のフローチャート	胃潰瘍ガイドラインの適用と評価に関する研究班	EBMに基づく胃潰瘍診療ガイドライン第2版	2007	じほう	瀬上真美		改訂なし		
	83	表1内視鏡的治療の分類と内訳	日本消化器病学会	消化性潰瘍診療ガイドライン	2009	南江堂			改訂なし		
2.胃食道逆流症	91	図1 胃食道逆流症(GERD)治療のフローチャート	日本消化器病学会	胃食道逆流症(GERD)診療ガイドライン	2009	南江堂	瀬上真美		改訂なし		
3.過敏性腸症候群		⇒RomeⅢ新診断基準を踏まえた図表があるが、個人編集のもの					嶋村弘史		改訂なし		
4.クローン病	-	-	-	-	-	-		http://minds4.jcqhc.or.jp/minds/CD/crohn_cpgs_2011.pdf	クローン病診療ガイドライン		
5.肝炎・肝硬変	123	図1 肝硬変の成因別頻度	日本消化器病学会、日本肝臓学会	肝がん白書			嶋村久美子		改訂なし		
	124	表3 Child-Pugh分類	日本肝臓学会	慢性肝炎のガイド2008(参考として作成)	2008	文光堂			慢性肝炎・肝硬変の診療ガイド2011(文光堂)		
	125	表5 承認B型慢性肝炎治療薬の比較	日本肝臓学会	慢性肝炎のガイド2008	2008	文光堂			慢性肝炎・肝硬変の診療ガイド2011(文光堂)		
	126	表6 厚生労働省研究班によるB型慢性肝炎の治療ガイドライン	厚生労働省研究班	B型肝炎治療ガイドライン	2013.5	日本肝臓学会HP			http://www.ish.or.jp/medical/date/H24_guideline.pdf 平成24年B型C型慢性肝炎・肝硬変治療ガイドライン		
	126	表7 厚生労働省研究班によるC型慢性肝炎の初回治療ガイドライン	厚生労働省研究班	C型肝炎治療ガイドライン	2013.5	日本肝臓学会HP			http://www.ish.or.jp/medical/date/H24_guideline.pdf 平成24年B型C型慢性肝炎・肝硬変治療ガイドライン		
	127	表8 PEG-IFN+リパビリン併用療法の持続的ウイルス陰性化率	日本肝臓学会	慢性肝炎のガイド2008	2008	文光堂			慢性肝炎・肝硬変の診療ガイド2011(文光堂)		
	6.急性肝炎・慢性肝炎	137	表1 急性肝炎の診断基準	厚生省難治性肝炎に関する調査研究班	急性肝炎診療ガイドライン2010 第3版	2009		金原出版	遠藤美緒		改訂なし
		138	表2 急性肝炎の重症度判定基準	厚生省難治性肝炎に関する調査研究班	急性肝炎診療ガイドライン2010 第3版	2009		金原出版			改訂なし
139		図1 慢性肝炎疼痛の治療ガイドライン	AGA	Gastroenterology115	1998			改訂なし			
<b>III 巻 心臓・血管系疾患/腎疾患/泌尿・生殖器疾患</b>											
<b>&lt;心臓・血管系疾患&gt;</b>											
1.高血圧	3	表2 成人における血圧値の分類	日本高血圧学会	高血圧治療ガイドライン2009	2009	ライフサイエンス出版	前田由佳子		改訂なし		
	4	表5 リスクの層別化に用いる予後影響因子	日本高血圧学会	高血圧治療ガイドライン2009	2009	ライフサイエンス出版			改訂なし		
	4	表6 リスクの層別化	日本高血圧学会	高血圧治療ガイドライン2009	2009	ライフサイエンス出版			改訂なし		
	4	表7 生活習慣の改善	日本高血圧学会	高血圧治療ガイドライン2009	2009	ライフサイエンス出版			改訂なし		
	5	図1 初診時の高血圧管理計画	日本高血圧学会	高血圧治療ガイドライン2009	2009	ライフサイエンス出版			改訂なし		
	6	表9 降圧目標値	日本高血圧学会	高血圧治療ガイドライン2009	2009	ライフサイエンス出版			改訂なし		

章	頁	引用・転載図表タイトル (「薬剤師のための疾患別薬物療法」における)	ガイドライン策定学会 (編集組織)	引用・転載ガイドライン	発行年	発行元	担当執筆者 (敬称略)	URL	書籍名(出版元)
2.心不全	18	図5. 急性心不全におけるクリニカルシナリオ					中園健一		日循環器学会、「急性心不全治療ガイドライン」2011年改訂版、2011、日本循環器学会
	19	図6 心不全の進展によるStage分類と各Stageごとの推奨治療	ACC/AHA	Practice Guideline, Circulation119	2009			改訂なし	
	20	図8 心不全の重症度かたまたま薬物治療指針	日本循環器学会	慢性心不全治療ガイドライン2010年改訂版		日本循環器学会			
	20	表5 慢性心不全の各Stageにおける薬物の適応	ACC/AHA	Practice Guideline, Circulation119	2009			改訂なし	
	30	本疾患をもっとよく理解するために(参考文献)	日本循環器学会	1)急性心不全治療ガイドライン	2006	日本循環器学会		<a href="http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2011_izumi_h.pdf">http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2011_izumi_h.pdf</a> (同2011版)	1) 日本循環器学会(編):急性心不全治療ガイドライン(2011年改訂版)
				3)ESC Guidelines for the diagnosis and treatment of acute and chronic heart failure 2008. Eur Heart J 29:2388-2442	2002			3) ESC Guidelines for the diagnosis and treatment of acute and chronic heart failure 2012. Eur Heart J 33:1787-1847, 2012	
3.不整脈	34	⇒心房細動治療のアルゴリズムの表があるが、海外個人のもの					小川竜一		
	34	表2 直流除細動	日本循環器学会	心房細動治療(薬物)ガイドライン(2008年改訂版)		日本循環器学会		ガイドライン自体の改訂なし	
	35	表3 心房細動治療(薬物)ガイドラインにおける推奨基準	日本循環器学会	心房細動治療(薬物)ガイドライン(2008年改訂版)		日本循環器学会		ガイドライン自体の改訂なし	
	35	表4 薬物による心房細動中の心拍数調節	日本循環器学会	心房細動治療(薬物)ガイドライン(2008年改訂版)		日本循環器学会		ガイドライン自体の改訂なし	
	36	表6 薬理的除細動	日本循環器学会	心房細動治療(薬物)ガイドライン(2008年改訂版)		日本循環器学会		ガイドライン自体の改訂なし	
	37	表7 抗不整脈薬単回経口投与方法	日本循環器学会	心房細動治療(薬物)ガイドライン(2008年改訂版)		日本循環器学会		ガイドライン自体の改訂なし	
	37	表8 心房細動患者における抗血栓療法	日本循環器学会	心房細動治療(薬物)ガイドライン(2008年改訂版)		日本循環器学会		<a href="http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/statement.pdf">http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/statement.pdf</a> (心房細動における抗血栓療法に関する緊急ステートメント)	日本循環器学会「心房細動における抗血栓療法に関する緊急ステートメント」も必ず参照すること。
38	表9 洞調律維持のための抗不整脈薬の予防的投与	日本循環器学会	心房細動治療(薬物)ガイドライン(2008年改訂版)		日本循環器学会	ガイドライン自体の改訂なし			
4.虚血性心疾患	49	表2 STEMI急性期に必要な臨床検査	ACC/AHA	Guidelines for the Management of Patients with ST-Elevation Myocardial Infarction	2004		川名純一 小海春恵 高橋晴美	<a href="http://circ.ahajournals.org/content/early/2012/12/17/CIR.0b013e3182742cf6">http://circ.ahajournals.org/content/early/2012/12/17/CIR.0b013e3182742cf6</a> (同2013版)	2013 ACCF/AHA Guideline for the Management of ST-Elevation Myocardial Infarction
	51	表4 STEMIの急性期治療・酸素	ACC/AHA	Guidelines for the Management of Patients with ST-Elevation Myocardial Infarction	2004			<a href="http://circ.ahajournals.org/content/early/2012/12/17/CIR.0b013e3182742cf6">http://circ.ahajournals.org/content/early/2012/12/17/CIR.0b013e3182742cf6</a> (同上)	2013 ACCF/AHA Guideline for the Management of ST-Elevation Myocardial Infarction
	51	表6 ACC/AHA/SCAが推奨するPCI施行後の管理	ACC/AHA/SCA	Guideline Update for Percutaneous Coronary Intervention	2007			<a href="http://circ.ahajournals.org/content/124/23/e574.full.pdf+html">http://circ.ahajournals.org/content/124/23/e574.full.pdf+html</a> (同2011版)	2011 ACCF/AHA/SCAI Guideline for Percutaneous Coronary Intervention
	52	表8 労作性狭心症の基本治療とMI二次予防のためのA to E	ACC/AHA	Guidelines for Management of Stable Angina	2002			<a href="http://circ.ahajournals.org/content/126/25/e354.full.pdf+html">http://circ.ahajournals.org/content/126/25/e354.full.pdf+html</a> (同2012版)	2012 ACCF/AHA/ACP/AATS/PCNA/SCAI/STS Guideline for the Diagnosis and Management of Patients With Stable Ischemic Heart Disease
	53	表9 心筋梗塞二次予防要約表	日本循環器学会	心筋梗塞二次予防に関するガイドライン2006年改訂版		日本循環器学会		<a href="http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2011_ogawah_h.pdf">http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2011_ogawah_h.pdf</a> (同2011版)	心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2011年改訂版)
	54	表10 STEMI後の薬物療法	ACC/AHA	Guidelines for the Management of Patients with ST-Elevation Myocardial Infarction	2004 2007			<a href="http://circ.ahajournals.org/content/early/2012/12/17/CIR.0b013e3182742cf6">http://circ.ahajournals.org/content/early/2012/12/17/CIR.0b013e3182742cf6</a> (同2013版)	2013 ACCF/AHA Guideline for the Management of ST-Elevation Myocardial Infarction
	54	表11 二次予防と長期管理	ACC/AHA	Guidelines for Secondary Prevention for Patients with Coronary and Other Atherosclerotic Vascular Disease	2006			<a href="http://circ.ahajournals.org/content/124/22/2458.full.pdf+html">http://circ.ahajournals.org/content/124/22/2458.full.pdf+html</a> (同2011Update)	AHA/ACCF Secondary Prevention and Risk Reduction Therapy for Patients With Coronary and Other Atherosclerotic Vascular Disease: 2011 Update
	54	図4 LDL-Cの管理目標値	日本動脈硬化学会	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007年版	2008	協和企画		<a href="http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2008_takano_h.pdf">http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2008_takano_h.pdf</a> (急性心筋梗塞(ST上昇型)の診療に関するガイドライン2008年版)	日本動脈硬化学会(編)動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012年版 その他、参考にしてもらいたいガイドライン、急性心筋梗塞(ST上昇型)の診療に関するガイドライン、日本循環器学会
5.脳血管障害	68	表5 rt-PA静注療法適正治療指針の概要	日本脳卒中学会	脳卒中27	2005		小川ゆかり	<a href="http://www.ists.gr.jp/jss19.html">http://www.ists.gr.jp/jss19.html</a> (rt-PA(アルテプラゼ)静脈療法適正治療指針第二版)	
<腎疾患>									
1.腎不全	86	表4 慢性腎臓病(CKD)の病期分類	日本腎臓学会	CKD診療ガイド2009	2009	東京医学社	山本知佳		CKD診療ガイド2012, 2012(東京医学社)
	87	表6 腎疾患の病態と食事療法の基本	日本腎臓学会	CKD診療ガイド2009	2009	東京医学社			CKD診療ガイド2012, 2012(東京医学社)
	89	表7 慢性腎不全の透析導入基準	厚生科学研究 腎不全医療研究班			1991			改訂なし
2.ネフローゼ症候群	103	表6 ネフローゼ症候群の治療効果判定基準と治療反応による分類	厚生省難治性疾患克服研究事業進行性腎障害に関する調査研究班、難治性ネフローゼ症候群分科会	日腎会誌53	2011	日本腎臓学会			
	104	図2 微小変化型ネフローゼ症候群の治療アルゴリズム	厚生省難治性疾患克服研究事業進行性腎障害に関する調査研究班、難治性ネフローゼ症候群分科会	日腎会誌53	2011	日本腎臓学会	山本知佳		
	104	図3 膜性腎症の治療アルゴリズム	厚生省難治性疾患克服研究事業進行性腎障害に関する調査研究班、難治性ネフローゼ症候群分科会	日腎会誌53	2011	日本腎臓学会			
<泌尿・生殖器>									
1.尿路感染症	125	表5 単純性尿路感染症における抗菌薬の選択と投与日数	日本感染症学会	抗菌薬使用のガイドライン	2005	協和企画	二神幸次郎		改訂なし
	125	表6 複雑性尿路感染症における抗菌薬の選択と投与日数	日本感染症学会	抗菌薬使用のガイドライン	2005	協和企画			改訂なし
	126	表7 急性単純性膀胱炎と急性単純性腎盂腎炎の治療開始基準	日本感染症学会	抗菌薬使用のガイドライン	2005	協和企画			改訂なし
2.神経因性膀胱・過活動膀胱	140	図3 過活動膀胱診療のアルゴリズム	日本排尿機能学会	過活動膀胱診療ガイドライン改訂ダイジェスト版	2008	ブラックウェルパブリッシング	山本知佳		改訂なし
	141	図4 過活動膀胱症状質問票(OABSS)	日本排尿機能学会	過活動膀胱診療ガイドライン改訂ダイジェスト版	2008	ブラックウェルパブリッシング			改訂なし
	142	表9 過活動膀胱の薬物療法	日本排尿機能学会	過活動膀胱診療ガイドライン改訂ダイジェスト版	2008	ブラックウェルパブリッシング			改訂なし

章	頁	引用・転載図表タイトル (「薬剤師のための疾患別薬物療法」における)	ガイドライン策定学会 (編集組織)	引用・転載ガイドライン	発行年	発行元	担当執筆者 (敬称略)	URL	書籍名(出版元)
3.前立腺肥大症	151	表2 男性LUTSの原因となる疾患・病態	日本排尿機能学会	男性下部尿路症状診療ガイドライン	2008	ブラックウェルパブリッシング	二神幸次郎	改訂なし	
	153	図3 前立腺肥大症の診療アルゴリズム	泌尿器科領域の治療標準化に関する研究班	EBMIに基づく前立腺肥大症診療ガイドライン	2001	じほう		改訂なし	前立腺肥大症診療ガイドライン, リッチヒルメディカル, 2011
	153	表3 LUTSを起こす可能性のある薬剤	日本排尿機能学会	男性下部尿路症状診療ガイドライン	2008	ブラックウェルパブリッシング		改訂なし	
	154	図4 国際前立腺症状スコア(IPSS)とQOLスコアによる評価	日本排尿機能学会	男性下部尿路症状診療ガイドライン	2008	ブラックウェルパブリッシング		改訂なし	
	156	表4 前立腺肥大症の領域別重症度判定基準	泌尿器科領域の治療標準化に関する研究班	EBMIに基づく前立腺肥大症診療ガイドライン	2001	じほう		改訂なし	前立腺肥大症診療ガイドライン, リッチヒルメディカル, 2011
	156	表5 前立腺肥大症の全般重症度判定基準	泌尿器科領域の治療標準化に関する研究班	EBMIに基づく前立腺肥大症診療ガイドライン	2001	じほう		改訂なし	前立腺肥大症診療ガイドライン, リッチヒルメディカル, 2011
	157	表6 推奨グレード別の男性LUTSの治療法	日本排尿機能学会	男性下部尿路症状診療ガイドライン	2008	ブラックウェルパブリッシング		改訂なし	
4.子宮内膜症	170	表6 r-ASRM分類	日本産科婦人科学会	子宮内膜症取扱い既約 第2部:治療編・診療編	2010	金原出版	柴田ゆうか	P181参考文献には、誤植なし。	
	171	図4 子宮内膜症不妊患者の治療方針(治療の主たる目的が不妊知治療の場合)	日本産科婦人科学会	子宮内膜症取扱い既約 第2部:治療編・診療編	2010	金原出版			
IV巻 免疫疾患/骨・関節疾患/血液・造血管疾患/内分泌・代謝疾患									
<免疫疾患>									
1.潰瘍性大腸炎	4	表2 重症度による分類	厚労省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班	平成9年度研究報告書	1998		滝川重弥 浜田幸宏 黒山政一	改訂なし	
	5	表4 UCの診断基準	厚労省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班	平成9年度研究報告書	1998			改訂なし	
	6	図4 直腸炎型を含む遠位型の寛解導入	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班プロジェクト研究グループ	エビデンスとコンセンサスを統合した潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン2006				改訂なし	
	6	図5 軽症～中等度の左側・全大腸炎型の寛解導入	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班プロジェクト研究グループ	エビデンスとコンセンサスを統合した潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン2006				改訂なし	
	7	図6 重症度の治療	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班プロジェクト研究グループ	エビデンスとコンセンサスを統合した潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン2006				改訂なし	
	7	図7 寛解維持	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班プロジェクト研究グループ	エビデンスとコンセンサスを統合した潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン2006				改訂なし	
	2.全身性エリテマトーデス	20	表1 全身性エリテマトーデス診断基準	米国リウマチ学会	全身性エリテマトーデス診断基準 1997改訂				幸田幸直
	20	表2 SLEの重症度からみた病型分類	厚労省特定疾患自己免疫疾患調査研究班	1991年度報告			改訂なし		
<骨・関節疾患>									
3.骨粗鬆症	32	表1 原発性骨粗鬆症診断基準(2000年度改訂版)	日本骨代謝学会	日骨代謝誌18	2001		新井万理子	改訂なし	
	33	表2 続発性骨粗鬆症の原因疾患	骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会	骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011年版				一部改訂: <a href="http://www.josteo.com/data/marker/11_1.pdf">http://www.josteo.com/data/marker/11_1.pdf</a>	
	34	図5 骨粗鬆症の診断および治療薬の選択時における骨代謝マーカーの測定	日本骨粗鬆症学会	骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイドライン2004年度版				改訂版解説サイト( <a href="http://m-miura.hu.labos.ac/file/de53dfb4-d003-11e1-aaf3-d7e4469d8ab0/">http://m-miura.hu.labos.ac/file/de53dfb4-d003-11e1-aaf3-d7e4469d8ab0/</a> )	骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイドライン2012年度版(日本骨粗鬆症学会雑誌 20(1), 31-55, 2012)
	35	図6 原発性骨粗鬆症の薬物治療開始基準	骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会	骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011年版				改訂なし	
	37	表6 骨粗鬆症治療薬の推奨グレード一覧	骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会	骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011年版				改訂なし	
	39	図8 ステロイド性骨粗鬆症の管理と治療のガイドライン(2004年度版)	The Japanese Society for Bone and Mineral Research	J Bone Miner Metab23	2005			<a href="http://jsbmr.umin.jp/kotutaisha_steroid.html">http://jsbmr.umin.jp/kotutaisha_steroid.html</a>	
	4.関節リウマチ	51	図4 RA管理のための2002年米国リウマチ学会ガイドライン	米国リウマチ学会					改訂なし
	52	表3 関節リウマチ(RA)に対するTNF阻害薬施行ガイドライン(2010年改訂版)	日本リウマチ学会 JCR調査研究委員会 生物学的製剤使用ガイドライン策定小委員会		2010		橋口正行 望月真弓	<a href="http://dra.e-humira.jp/pdf/product/08/guideline_TNF.pdf">http://dra.e-humira.jp/pdf/product/08/guideline_TNF.pdf</a>	日本リウマチ学会調査研究委員会 生物学的製剤使用ガイドライン策定小委員会編, "関節リウマチ(RA)に対するTNF阻害薬使用ガイドライン" 2012改訂版, 2012/06/30
<血液・造血管疾患>									
5.貧血		表6、表7、表8、図3、図4	小峰光博ほか、再生不良性貧血診療の参照ガイド、臨床血液47:27-46、2006より一部改訂。現時点で再生不良性貧血に関するガイドラインはなし。	小峰光博ほか、再生不良性貧血診療の参照ガイド、臨床血液47:27-46、2006より一部改訂。			伊藤忠明 林 昌洋	再生不良性貧血診療の参照ガイド改訂版: <a href="http://www.jjchi.ac.jp/zoketsushogaihan/aa.pdf">http://www.jjchi.ac.jp/zoketsushogaihan/aa.pdf</a> (ただし、冊子の図表への影響はない)	
6.白血病	91	表5 AMLのWHO分類	IARC	WHO Classification of Tumors of Haematopoietic and Lymphoid Tissues 4th ed			内田ゆみ子 林 昌洋	改訂なし	
	95	表8 ALLのWHO分類	IARC	WHO Classification of Tumor of Haematopoietic and Lymphoid Tissues 4th ed				改訂なし	

章	頁	引用・転載図表タイトル (「薬剤師のための疾患別薬物療法」における)	ガイドライン策定学会 (編集組織)	引用・転載ガイドライン	発行年	発行元	担当執筆者 (敬称略)	URL	書籍名(出版元)	
<b>&lt;内分泌・代謝疾患&gt;</b>										
7.糖尿病	116	食後高血糖は有害か	International Diabetes Federation	Guideline for Management of Postmeal Glucose	2007		小茂田昌代 橋本 薫	<a href="http://www.idf.org/2011-guideline-management-postmeal-glucose-diabetes">http://www.idf.org/2011-guideline-management-postmeal-glucose-diabetes</a>	Guideline for Management of PostMeal Glucose in Diabetes 2011	
	117	表5 糖尿病治療の目標と指針ステートメント	日本糖尿病学会	科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2010	2010	南江堂			科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン改訂第二版	
	118	図2 2型糖尿病・インスリン非依存状態の治療	日本糖尿病学会	科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2010	2010	南江堂			科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン改訂第二版	
	119	表6 血糖降下薬による治療ステートメント(インスリンを除く)	日本糖尿病学会	科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2010	2010	南江堂			科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン改訂第二版	
	120	図4 病態に合わせた経口糖尿病薬の選択	日本糖尿病学会	糖尿病治療ガイド2010	2010	文光堂			糖尿病治療ガイド2010-2013	
	121	表7 インスリンによる治療ステートメント	日本糖尿病学会	科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2010	2010	南江堂			科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン改訂第二版	
									<a href="http://www.jds.or.jp/common/fckeditor/editor/filemanager/connectors/php/transfer.php?file=/uid000025_48624131635F32303132313032342E706466">http://www.jds.or.jp/common/fckeditor/editor/filemanager/connectors/php/transfer.php?file=/uid000025_48624131635F32303132313032342E706466</a>	日本糖尿病学会、平成5年度以降におけるHbA1c国際標準化の運用計画、2012/10/24(HbA1cの表記が国際標準化計画に基づき、統一化されます。)
8.甲状腺機能亢進症・低下症	137	図4 主な甲状腺中毒症の鑑別診断フローチャート	厚労省	重篤副作用疾患別対応マニュアル 甲状腺中毒症	平成21年		青山隆夫		改訂なし	
	138	表3 バセドウ病の診断ガイドライン	日本甲状腺学会	甲状腺疾患診断ガイドライン2010					改訂なし	
	138	表4 無痛性甲状腺炎の診断ガイドライン	日本甲状腺学会	甲状腺疾患診断ガイドライン2010					改訂なし	
	139	表5 亜急性甲状腺炎(急性期)の診断ガイドライン	日本甲状腺学会	甲状腺疾患診断ガイドライン2010					改訂なし	
	140	表6. 7 甲状腺機能低下症の診断ガイドライン	日本甲状腺学会	甲状腺疾患診断ガイドライン2010					改訂なし	
	140	表8 慢性甲状腺炎(橋本病)の診断ガイドライン	日本甲状腺学会	甲状腺疾患診断ガイドライン2010					改訂なし	
9.脂質異常症	149	表1 脂質異常症の診断基準(空腹時採血)	日本動脈硬化学会	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007	2008	協和企画	土谷隆紀		動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012、2012年、杏林舎	
	150	図1 リポ蛋白質の代謝経路とその異常	日本動脈硬化学会	動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症治療ガイド2008年版	2008				改訂なし	
	151	表2 高脂血症の表現型分類	日本動脈硬化学会	動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症治療ガイド2008年版	2008				改訂なし	
	151	表3 原発性高脂血症の分類	厚労省特定疾患原発性高脂血症調査研究班	研究報告書昭和61年度、62年度					改訂なし	
	151	表4 続発性高脂血症の分類	日本動脈硬化学会	動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症治療ガイド2008年版	2008				改訂なし	
	152	表5 リスク別脂質管理目標値	日本動脈硬化学会	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007	2008	協和企画				動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012、2012、杏林舎
	153	図2 カテゴリーと管理目標からみた治療指針	日本動脈硬化学会	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007	2008	協和企画				動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012、2012、杏林舎
	154	表6 脂質異常症における食事療法の基本	日本動脈硬化学会	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007	2008	協和企画			動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012、2012、杏林舎	
10.痛風・高尿酸血症	164	表1 尿中尿酸排泄量と尿酸クリアランスによる病型分類	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版	2010	メディカルレビュー社	嶋田修治		ガイドライン自体の改訂なし	
	165	図1 痛風関節炎患者の治療計画	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第1版	2002	メディカルレビュー社			ガイドライン自体の改訂なし	
	165	表3 痛風関節炎に適応のあるNSAIDs一覧	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版	2010	メディカルレビュー社			<a href="http://www.tukaku.jp/tufu-GL2.pdf">http://www.tukaku.jp/tufu-GL2.pdf</a>	日本痛風・尿酸代謝学会、「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」第2版[2012年追補版]、メディカルレビュー社、2012
	166	図2 高尿酸血症の治療方針	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版	2010	メディカルレビュー社			ガイドライン自体の改訂なし	
	167	表4 尿酸排泄促進薬の種類と投与量、副作用など	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版	2010	メディカルレビュー社			<a href="http://www.tukaku.jp/tufu-GL2.pdf">http://www.tukaku.jp/tufu-GL2.pdf</a>	日本痛風・尿酸代謝学会、「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」第2版[2012年追補版]、メディカルレビュー社、2012
	168	表5 尿酸生成抑制薬の種類と投与量、副作用など	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版(2012追補版)	2012	メディカルレビュー社			<a href="http://www.tukaku.jp/tufu-GL2.pdf">http://www.tukaku.jp/tufu-GL2.pdf</a>	日本痛風・尿酸代謝学会、「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」第2版[2012年追補版]、メディカルレビュー社、2012
	168	表6 腎機能に応じたアロプリノールの使用量	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版	2010	メディカルレビュー社			ガイドライン自体の改訂なし	
	169	表7 尿をアルカリ化する食品と酸性化する食品の例	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第1版	2002	メディカルレビュー社			ガイドライン自体の改訂なし	
	169	表8 食品のプリン体含有量	日本痛風・尿酸代謝学会	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版	2010	メディカルレビュー社		ガイドライン自体の改訂なし		
<b>V巻 感染症/呼吸器疾患/皮膚疾患/感覚器疾患</b>										
<b>&lt;感染症&gt;</b>										
1.細菌感染症	3	表2 原因菌推定のための判断材料	日本化学療法学会、日本感染症学会	抗菌薬使用のガイドライン	2005		堀 勝幸		改訂なし	
	6	表6 代表的な成人市中肺炎の原因菌	日本化学療法学会、日本感染症学会	抗菌薬使用のガイドライン	2005				改訂なし	
	7	図2 市中肺炎診断フローチャート	日本呼吸器学会	成人市中肺炎診療ガイドライン	2007				改訂なし	
	8	図3 市中肺炎の重症度分類と治療場所	日本呼吸器学会	成人市中肺炎診療ガイドライン	2007				改訂なし	
	9	図4 院内肺炎の重症度分類	日本呼吸器学会	成人院内肺炎診療ガイドライン	2008				改訂なし	
	9	表7 Miller & Jonesの分類	日本呼吸器学会	成人市中肺炎診療ガイドライン	2007				改訂なし	
	9	表8 Gecklerの分類	日本呼吸器学会	成人市中肺炎診療ガイドライン[改変]	2007				改訂なし	
	10	表9 細菌性肺炎と非定型肺炎の鑑別	日本呼吸器学会	成人市中肺炎診療ガイドライン	2007				改訂なし	
	10	表10 成人市中肺炎初期治療の抗菌薬選択	日本呼吸器学会	成人市中肺炎診療ガイドライン	2007				改訂なし	
	11	表11 市中肺炎原因菌判明時の抗菌薬選択	日本呼吸器学会	成人市中肺炎診療ガイドライン	2007				改訂なし	
2.ウイルス感染症	-	-	-	-	-	-		-	-	-
3.真菌感染症	42,43	表4.5,6深在性真菌症の領域・疾患別治療法	深在性真菌症のガイドライン作成委員会	深在性真菌症の診断・治療ガイドライン2007[抜粋]	2007	協和企画	下枝貞彦		改訂なし	

章	頁	引用・転載図表タイトル (「薬剤師のための疾患別薬物療法」における)	ガイドライン策定学会 (編集組織)	引用・転載ガイドライン	発行年	発行元	担当執筆者 (敬称略)	URL	書籍名(出版元)	
4.HIV感染症	58	図4 HIV感染症の検査	www.hivkensa.com	保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン第2版			佐野俊彦		厚生省科学研究費補助金による研究班、「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン」第3版、2012年3月	
	59	表3 抗HIV療法の開始時期について	平成22年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業HIV感染症およびその合併症の課題を克服する研究班	抗HIV治療ガイドライン	2011			http://www.haart-support.jp	平成23年度版が最新(2012年3月発行)、平成24年度版は年度末発行予定。厚生労働省科学研究「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」班	
	61	表6 MACに対する薬物療法⇒海外のもの?		成人および青少年HIV感染者における日和見感染症の予防法と治療法に関するガイドライン	2009			改訂なし		
	62	表7 CMVIに対する薬物療法⇒海外のもの?		成人および青少年HIV感染者における日和見感染症の予防法と治療法に関するガイドライン	2009			改訂なし		
	64	表9 初回治療として選択すべき抗HIV薬の組合せ	平成22年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業HIV感染症およびその合併症の課題を克服する研究班	抗HIV治療ガイドライン	2011			http://www.haart-support.jp	平成23年度版が最新(2012年3月発行)、平成24年度版は年度末発行予定。厚生労働省科学研究「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」班	
	64	表10 行ってはならない抗HIV療法	平成22年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業HIV感染症およびその合併症の課題を克服する研究班	抗HIV治療ガイドライン	2011		http://www.haart-support.jp	平成23年度版が最新(2012年3月発行)、平成24年度版は年度末発行予定。厚生労働省科学研究「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」班		
<b>&lt;呼吸器疾患&gt;</b>										
1.気管支喘息	75	図1 喘息発作・増悪のメカニズム	日本アレルギー学会	喘息予防・管理ガイドライン2009	2009	協和企画	百瀬泰行	改訂なし		
	78	表2 喘息発作の強度と動脈血ガス所見、呼吸機能変化	日本アレルギー学会	喘息予防・管理ガイドライン2009	2009	協和企画		改訂なし		
	79	表4 喘息治療ステップ	日本アレルギー学会	喘息予防・管理ガイドライン2009	2009	協和企画		改訂なし		
	79	表5 未治療患者の症状と目安となる治療ステップ	日本アレルギー学会	喘息予防・管理ガイドライン2009	2009	協和企画		改訂なし		
	81	表7 喘息発作(急性増悪)の強度に対応した管理法	日本アレルギー学会	喘息予防・管理ガイドライン2009	2009	協和企画		改訂なし		
2.慢性閉塞性肺疾患	91	表1 COPDの定義	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社	塚本 仁	改訂なし		
	91	表2 COPDの診断基準	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	94	表4 MRC (British Medical Research Council) 質問票	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	98	表6 鑑別を要する疾患	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	98	表7 COPD病期分類	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	99	図11 Hb酸素解離曲線	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	101	表9 COPDの管理目標	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	101	図14 安定期COPDの管理	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	102	表11 COPDの管理に使用する各薬剤の臨床効果とエビデンス	ATS/ERS Task Force	Standards for the diagnosis and treatment of patient with COPD: Eur Respir J 23	2004			改訂なし		
	103	図15 運動療法による呼吸困難の改善効果	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	104	表13 COPD急性増悪の重症度分類	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
	104	表14 入院と集中治療を考慮すべき状態	日本呼吸器学会	COPD診断と治療のためのガイドライン第3版	2009	メディカルレビュー社		改訂なし		
<b>&lt;皮膚疾患&gt;</b>										
1.アトピー性皮膚炎	117	表1 アトピー性皮膚炎の重症度評価のめやす	厚生労働科学研究	アトピー性皮膚炎治療ガイドライン2008	2008			大谷道輝 大谷真理子	改訂なし	
	118	図1 日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎重症度分類(簡便法)	日本皮膚科学会	アトピー性皮膚炎診療ガイドライン	2009		改訂なし			
	119	図2 発症・悪化因子	厚生労働科学研究	アトピー性皮膚炎治療ガイドライン2008	2008		改訂なし			
	120	図3 アトピー性皮膚炎:治療の手順	日本皮膚科学会	アトピー性皮膚炎診療ガイドライン	2009		改訂なし			
	121	表4 ステロイド外用薬のランク	日本皮膚科学会	アトピー性皮膚炎診療ガイドライン	2009		改訂なし			
	121	表5 皮膚の重症度とステロイド外用薬の選択	日本皮膚科学会	アトピー性皮膚炎診療ガイドライン	2009		改訂なし			
	122	図4 薬物療法の基本例	厚生労働科学研究	アトピー性皮膚炎治療ガイドライン2008[改定]	2008		改訂なし			
	125	表10 スキンケア	厚生労働科学研究	アトピー性皮膚炎治療ガイドライン2008	2008		改訂なし			
	126	表11 アトピー性皮膚炎に用いられる抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬		蕁麻疹・血管性浮腫の治療ガイドライン 日皮会誌115,中樞に移行しない第二世代抗ヒスタミン薬 西日皮膚71	2005 2009		改訂なし			
2.褥瘡	139	図3 ⇒ガイドラインとあるが個人のものか?					古田勝経			色調分類は福井基成先生が考え出されたものです。それを引用しただけです。ガイドラインの改訂には関係ありません。
	140	表1 DESIGNツールと主な外用薬	日本褥瘡学会	褥瘡局所治療ガイドライン	2005				http://www.jspu.org/jpn/info/announce.html	褥瘡予防・治療ガイドライン 第3版、褥瘡会誌、14(2):165~226, 2012 褥瘡ガイドブック、日本褥瘡学会編集、褥瘡予防・治療ガイドライン 第3版準拠
<b>&lt;感覚器疾患&gt;</b>										
1.緑内障	158	表1 緑内障の分類	日本緑内障学会	緑内障診療ガイドライン 第2版	2006		砂金信義	www.nichigan.or.jp/member/guideline/glaucoma3.jsp	日本眼科学会、診療ガイドライン改訂第3版、2011年6月、URL収載のデータは、日眼会誌116巻1号に掲載	
	159	表2 日本における緑内障有病率(40歳以上)	日本緑内障学会	緑内障診療ガイドライン 第2版	2006					
	164	表5 目標眼圧の設定に関する因子	日本緑内障学会	緑内障診療ガイドライン 第2版	2006					
	165	図6 原発開放隅角緑内障における眼圧下降療法の方針	日本緑内障学会	緑内障診療ガイドライン 第2版	2006					
	165	図7 薬物眼圧下降療法の方針	日本緑内障学会	緑内障診療ガイドライン 第2版	2006					
	165	図8 原発閉塞隅角緑内障における治療方針	日本緑内障学会	緑内障診療ガイドライン 第2版	2006					
	165	図9 急性原発閉塞隅角緑内障治療プロトコール	日本緑内障学会	緑内障診療ガイドライン 第2版	2006					